



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社
 コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 仲山 紺之

TEL 03-3858-1037

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	40,413	2.4	571	16.6	641	15.7	360	21.5
2019年3月期	39,448	5.9	685	1.2	761	0.2	459	3.4

(注) 包括利益 2020年3月期 288百万円 (31.7%) 2019年3月期 422百万円 (22.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	24.46		4.6	3.1	1.4
2019年3月期	31.18		6.0	3.9	1.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	21,873	8,023	36.7	543.80
2019年3月期	19,807	7,847	39.6	532.14

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,023百万円 2019年3月期 7,847百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,434	3,308	1,953	3,930
2019年3月期	1,049	2,264	144	2,850

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		16.00	16.00	117	25.7	1.5
2020年3月期		0.00		5.00	5.00	73	20.4	0.9
2021年3月期(予想)								

(注) 1. 2020年3月期の期末配当金につきましては、配当予想を修正しております。詳細につきましては、5月8日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期については、当該株式分割前の実際の期末配当金の金額を記載し、2020年3月期については、当該株式分割後の期末配当金を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年3月期の期末配当金は10円00銭となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(注) 次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。当社グループは外食産業、中食産業を主な販売先としており、新型コロナウイルス感染抑止策による外出自粛要請等は業績に大きな影響を与えません。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	14,872,000 株	2019年3月期	14,872,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	118,484 株	2019年3月期	125,034 株
期中平均株式数	2020年3月期	14,751,179 株	2019年3月期	14,745,613 株

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	784	19.8	280	69.3	289	63.7	263	82.3
2019年3月期	654	4.1	165	5.5	176	5.3	144	4.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	17.88	
2019年3月期	9.81	

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,263	4,177	98.0	283.13
2019年3月期	4,117	4,029	97.9	273.25

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,177百万円 2019年3月期 4,029百万円

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

・新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、当社の決算説明会(機関投資家向け)の開催はございません。

・当社は、2020年5月18日に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 生産、受注及び販売の状況	19
(2) 最近における四半期毎の業績推移	20
(3) 役員の変動	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出の減少を背景として製造業を中心に低迷が見られる一方、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復が続いたものの、米中通商摩擦・日韓関係の懸念長期化、英国のEU離脱問題、中東情勢の地政学的リスクの高まり、さらには新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念の高まりなど、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する青果物流通業界におきましては、2019年10月の消費税増税や将来の各種社会保障費負担増への懸念等から消費者の節約志向は依然として根強く、かつ人手不足に伴う労働コストや物流コストの上昇、下期における自然災害の影響、さらには新型コロナウイルスの感染拡大により急速に消費マインドが冷え込むなど極めて厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、営業部門を強化し、メニュー提案・産地提案等の営業活動を行うとともに、安全・安心な商品の安定供給と、お客様のニーズにお応えしたサービスの提供に注力いたしました。加えて、物流子会社エフエスロジスティクス株式会社の基幹物流を中心とした流通インフラやデリカフーズ株式会社埼玉F Sセンター及び中京F Sセンターの低温貯蔵機能等をお客様に高くご評価いただいたこと、人手不足の深刻化に伴いカット野菜・真空加熱野菜の需要が増加したこと等により、新規顧客の獲得及び既存取引の深耕が順調に進展いたしました。

また、当連結会計年度を最終期とする中期経営計画『Next Change 2020』の重点課題、『経営基盤の構築』、『成長基盤の構築』、『研究開発部門の強化』におきましても、順調な成果を残すことができました。『経営基盤の構築』におきましては、事業会社の統合により経営体制の刷新と事業の効率化を実現することができました。『成長基盤の構築』におきましては、新工場の増設と新エリアへの進出及び他社との業務提携等を実現することができました。『研究開発部門の強化』におきましては、受託研究部門とコンサルティング部門の効果的な連携と一部統合を実現することができました。

これら経営施策や事業努力による効果により、第3四半期連結累計期間までの売上高は前年同四半期比4.3%の増加、営業利益は同6.0%の増加、経常利益は同5.0%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は同11.0%の増加と、売上高・各利益ともに順調に推移しておりました。

しかしながら、1月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、消費者の外出機会の減少、当社の主要取引先である外食企業・中食企業において休業、時間短縮営業等が実施されたこと等により当社グループの売上高が大幅に減少いたしました。

その結果、当連結会計年度における売上高は40,413百万円（前期比2.4%増）となり、利益につきましては、営業利益571百万円（前期比16.6%減）、経常利益641百万円（前期比15.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は360百万円（前期比21.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

① 青果物事業

当セグメントの売上高は、営業部門を強化し、メニュー提案・産地提案等の営業活動に注力したこと、埼玉F Sセンター及び中京F Sセンターの低温貯蔵機能及び最新の生産設備等をお客様に高くご評価いただいたこと、人手不足の深刻化に伴いカット野菜・真空加熱野菜の需要が増加したこと等により、第3四半期連結累計期間までは前年同四半期比4.2%の増加と順調に推移しておりました。また、セグメント利益（経常利益）につきましても、デリカフーズ株式会社愛知事業所のカット野菜工場改修に伴う消耗品費等の立ち上げ費用の発生及び減価償却費の増加に加え、人手不足・最低賃金上昇に伴う労働コストの上昇、天候不順による野菜の調達価格の高騰等がありました。付加価値の高いカット野菜・真空加熱野菜の売上増加、低温貯蔵機能を活用した戦略的な購買の実施、コスト削減活動強化等により前年同四半期比5.8%の増加と順調に推移しておりました。

しかしながら、1月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当社の主要取引先である外食企業・中食企業において休業、時間短縮営業等が実施されたこと等により青果物の販売量が大幅に減少いたしました。その結果、当連結会計年度では、セグメント売上高は40,288百万円と前期と比べ950百万円（2.4%）の増収、セグメント利益（経常利益）は585百万円と前期と比べ130百万円（18.3%）の減益となりました。

② 物流事業

当セグメントの売上高は、主要な荷主であるデリカフーズ株式会社の売上高が順調に増加していることに加え、2018年10月より大阪営業所を開設したこと、野菜と資材を同時に配送するサービスについてお客様からご評価をいただいたこと等により、3,124百万円と前期と比べ482百万円(18.3%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、事業拡大・物流網構築のための人員・車両確保費用の発生、原油価格高騰に伴う燃料費の上昇等がありました。10月より一部お客様のご協力を得て週に1度の運休日を設けたこと、コスト削減活動を強化したこと等により8百万円(前期は12百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。

③ 研究開発・分析事業

当セグメントの売上高は、コンサルティング部門の定期コンサル案件が一部終了したこともあり、122百万円と前期と比べ17百万円(12.6%)の減収となりました。セグメント利益(経常利益)は、作業効率向上に伴う外部委託費用・人件費の減少等により、9百万円(前期は0百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。

④ 持株会社

当セグメントの売上高は、784百万円と前期と比べ129百万円(19.8%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、289百万円と前期と比べ112百万円(63.7%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、8,373百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が1,081百万円、前払費用が45百万円増加した一方、売掛金が1,160百万円減少したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17.4%増加し、13,500百万円となりました。これは、主として、建物及び構築物が1,457百万円、機械装置及び運搬具が574百万円、土地が163百万円増加した一方、投資有価証券が131百万円減少したことなどによります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6.2%減少し、4,825百万円となりました。これは、主として、未払金が109百万円、一年以内返済長期借入金が79百万円増加した一方、買掛金が479百万円減少したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ32.5%増加し、9,025百万円となりました。これは、主として、長期借入金が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、8,023百万円となりました。これは、主として、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が84百万円減少したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、3,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,079百万円増加しました。当連結会計年度のキャッシュ・フローの内容は概ね次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少1,209百万円、税金等調整前当期純利益622百万円、減価償却費866百万円、補助金の受取額513百万円が主要な収入であります。また、仕入債務の減少504百万円、法人税等の支払264百万円が主要な支出であります。以上の結果、2,434百万円の収入(前期は1,049百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3,395百万円が主要な支出であります。以上の結果、3,308百万円の支出（前期は2,264百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入4,400百万円が主要な収入であります。また、長期借入金の返済による支出2,189百万円、リース債務の返済による支出124百万円、配当金の支払額118百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,953百万円の収入（前期は144百万円の収入）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	39.9	39.3	39.2	39.6	36.7
時価ベースの自己資本比率	39.7	44.3	61.1	53.7	44.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	10.6	6.0	9.1	7.4	4.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	12.3	30.1	27.7	30.4	87.4

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。

当社グループは外食企業、中食企業を主な販売先としており、新型コロナウイルス感染抑止策による外出自粛要請等は業績に大きな影響を与えます。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、この困難な状況を乗り越えるべく、グループ一丸となり、新たな販売施策の構築、推進を行い、「農と健康を繋ぐデリカフーズグループ」として再び邁進したいと考えております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元策として、配当による成果の配分を重要視しており、配当原資確保のため収益力強化を図りながら、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当社は、取締役会の決議によって中間配当を行うことができる旨を定めておりますが、原則として、株主総会の決議による期末配当をもって剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

内部留保につきましては、営業力を強化するための設備投資や事業拡大投資、財務体質の強化などに活用し、企業価値の向上を図っていく所存であります。

当期の利益配当につきましては、期末配当金として1株につき10円の普通配当と公表しておりましたが、連結業績の状況等を勘案し、前回予想から5円減額し1株につき5円の普通配当とする予定です。

詳細につきましては、2020年5月8日付にて公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、次期の配当につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、その業務をほぼ日本国内において行っており、海外での活動は少ないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,195,540	4,276,968
売掛金	4,798,529	3,638,084
商品及び製品	140,729	160,999
仕掛品	12,583	10,437
原材料及び貯蔵品	50,054	60,485
その他	114,695	229,057
貸倒引当金	△1,819	△2,948
流動資産合計	8,310,312	8,373,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,005,298	6,463,057
機械装置及び運搬具（純額）	1,044,656	1,618,918
土地	3,475,957	3,639,663
リース資産（純額）	357,765	367,885
建設仮勘定	152,892	63,186
その他（純額）	143,326	148,458
有形固定資産合計	10,179,897	12,301,168
無形固定資産		
その他	77,861	67,356
無形固定資産合計	77,861	67,356
投資その他の資産		
投資有価証券	548,588	416,998
長期貸付金	227,877	220,430
投資不動産	119,320	119,320
繰延税金資産	77,099	121,738
その他	270,944	254,848
貸倒引当金	△4,695	△1,519
投資その他の資産合計	1,239,134	1,131,816
固定資産合計	11,496,893	13,500,342
資産合計	19,807,206	21,873,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,112,651	1,632,816
短期借入金	260,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	992,092	1,071,141
リース債務	108,403	120,074
未払法人税等	107,260	113,330
未払金	1,315,010	1,424,905
未払費用	57,136	52,624
賞与引当金	113,432	119,329
その他	80,426	30,794
流動負債合計	5,146,414	4,825,017
固定負債		
長期借入金	6,118,210	8,303,440
リース債務	276,835	279,945
退職給付に係る負債	129,892	135,230
資産除去債務	260,234	261,624
その他	28,177	45,140
固定負債合計	6,813,350	9,025,380
負債合計	11,959,764	13,850,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,377,113	1,377,113
資本剰余金	2,164,228	2,167,666
利益剰余金	4,205,155	4,447,991
自己株式	△28,494	△27,025
株主資本合計	7,718,003	7,965,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,245	51,866
退職給付に係る調整累計額	△6,806	5,415
その他の包括利益累計額合計	129,438	57,281
純資産合計	7,847,441	8,023,027
負債純資産合計	19,807,206	21,873,425

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	39,448,215	40,413,389
売上原価	30,230,341	31,137,621
売上総利益	9,217,873	9,275,768
販売費及び一般管理費	8,532,108	8,704,090
営業利益	685,765	571,677
営業外収益		
受取利息	2,398	2,328
受取配当金	4,961	5,512
物品売却益	22,123	15,608
助成金収入	3,865	13,128
受取賃貸料	27,380	38,993
その他	47,110	26,248
営業外収益合計	107,839	101,820
営業外費用		
支払利息	28,551	29,754
その他	3,894	2,095
営業外費用合計	32,446	31,850
経常利益	761,158	641,647
特別利益		
固定資産売却益	29	528
投資有価証券売却益	—	3,193
保険解約返戻金	2,893	—
補助金収入	—	513,129
負ののれん発生益	—	10,093
特別利益合計	2,922	526,945
特別損失		
固定資産除却損	20,436	11,219
固定資産売却損	1,041	—
固定資産圧縮損	—	499,891
投資有価証券評価損	29,400	549
不動産取得税等	16,129	18,691
その他	1,248	15,721
特別損失合計	68,257	546,072
税金等調整前当期純利益	695,824	622,520
法人税、住民税及び事業税	260,300	240,668
法人税等調整額	△24,179	21,040
法人税等合計	236,120	261,708
当期純利益	459,703	360,811
親会社株主に帰属する当期純利益	459,703	360,811

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	459,703	360,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,976	△84,378
退職給付に係る調整額	△7,969	12,221
その他の包括利益合計	△36,946	△72,156
包括利益	422,757	288,654
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	422,757	288,654
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,377,113	2,162,233	3,863,397	△29,358	7,373,385
当期変動額					
剰余金の配当			△117,945		△117,945
親会社株主に帰属する当期純利益			459,703		459,703
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		1,995		865	2,861
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,995	341,757	864	344,617
当期末残高	1,377,113	2,164,228	4,205,155	△28,494	7,718,003

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	165,221	1,162	166,384	7,539,770
当期変動額				
剰余金の配当				△117,945
親会社株主に帰属する当期純利益				459,703
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				2,861
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28,976	△7,969	△36,946	△36,946
当期変動額合計	△28,976	△7,969	△36,946	307,671
当期末残高	136,245	△6,806	129,438	7,847,441

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,377,113	2,164,228	4,205,155	△28,494	7,718,003
当期変動額					
剰余金の配当			△117,975		△117,975
親会社株主に帰属する当期純利益			360,811		360,811
自己株式の取得				△36	△36
自己株式の処分		3,437		1,505	4,943
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	3,437	242,835	1,468	247,742
当期末残高	1,377,113	2,167,666	4,447,991	△27,025	7,965,745

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	136,245	△6,806	129,438	7,847,441
当期変動額				
剰余金の配当				△117,975
親会社株主に帰属する当期純利益				360,811
自己株式の取得				△36
自己株式の処分				4,943
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△84,378	12,221	△72,156	△72,156
当期変動額合計	△84,378	12,221	△72,156	175,585
当期末残高	51,866	5,415	57,281	8,023,027

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	695,824	622,520
減価償却費	718,363	866,187
株式報酬費用	1,907	4,249
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,891	△2,735
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,766	4,275
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,288	21,096
受取利息及び受取配当金	△7,360	△7,841
支払利息	28,551	29,754
補助金収入	—	△513,129
保険解約返戻金	△2,893	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,193
投資有価証券評価損益 (△は益)	29,400	549
固定資産除却損	20,436	11,219
固定資産圧縮損	—	499,891
負ののれん発生益	—	△10,093
売上債権の増減額 (△は増加)	△73,202	1,209,197
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,709	△22,627
仕入債務の増減額 (△は減少)	△49,165	△504,856
未払金の増減額 (△は減少)	△143,830	66,167
その他	212,781	△64,006
小計	1,479,685	2,206,626
利息及び配当金の受取額	7,360	7,841
補助金の受取額	—	513,129
利息の支払額	△34,563	△27,856
法人税等の支払額	△403,417	△264,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,049,063	2,434,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,200
有形固定資産の取得による支出	△2,243,152	△3,395,733
無形固定資産の取得による支出	△44,578	△10,085
投資有価証券の取得による支出	△5,307	△5,491
投資有価証券の売却による収入	—	11,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	53,343
敷金及び保証金の差入による支出	△4,902	△4,962
保険積立金の払戻による収入	6,678	17,274
その他	26,443	16,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,264,818	△3,308,332

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,380,000	4,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,009,040	△2,189,759
リース債務の返済による支出	△108,712	△124,802
配当金の支払額	△117,709	△118,066
その他	△1	△13,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,536	1,953,470
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,071,218	1,079,963
現金及び現金同等物の期首残高	3,921,759	2,850,540
現金及び現金同等物の期末残高	2,850,540	3,930,504

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社の傘下に、青果物事業を担う子会社2社、物流事業を担う子会社1社及び研究開発・分析事業を担う子会社2社がぶら下がり、各事業ごとに戦略を立案し、事業活動を行っております。

従って、「青果物事業」、「物流事業」、「研究開発・分析事業」及び「持株会社」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務 諸表計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	39,335,798	32,906	79,232	277	39,448,215	—	39,448,215
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,763	2,608,864	61,317	654,200	3,327,145	△3,327,145	—
計	39,338,562	2,641,771	140,549	654,477	42,775,360	△3,327,145	39,448,215
セグメント利益 又は損失(△)	716,732	△12,749	△653	176,829	880,158	△119,000	761,158
セグメント資産	18,393,361	556,984	186,776	4,116,565	23,253,687	△3,446,481	19,807,206
セグメント負債	13,505,981	486,309	22,010	84,919	14,099,220	△2,139,455	11,959,764
その他の項目							
減価償却費	655,873	52,120	4,352	6,016	718,363	—	718,363
受取利息	2,360	1	1	4,637	7,000	△4,601	2,398
支払利息	33,153	—	—	—	33,153	△4,601	28,551
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	2,346,999	65,721	3,716	1,990	2,418,428	—	2,418,428

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△119,000千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△3,446,481千円は、セグメント間における投資と資本の相殺消去△1,307,025千円、債権と債務の相殺消去△2,139,455千円が含まれております。

(3) セグメント負債の調整額△2,139,455千円は、セグメント間における債権と債務の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務 諸表計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	40,284,485	63,818	65,086	—	40,413,389	—	40,413,389
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,187	3,060,733	57,779	784,000	3,906,699	△3,906,699	—
計	40,288,672	3,124,551	122,865	784,000	44,320,088	△3,906,699	40,413,389
セグメント利益	585,736	8,625	9,509	289,477	893,347	△251,700	641,647
セグメント資産	20,008,087	660,493	92,360	4,263,067	25,024,008	△3,150,583	21,873,425
セグメント負債	15,001,496	578,341	22,266	85,951	15,688,055	△1,837,658	13,850,397
その他の項目							
減価償却費	787,164	69,269	3,379	6,374	866,187	—	866,187
受取利息	2,297	2	1	5,043	7,345	△5,016	2,328
支払利息	34,573	197	—	—	34,771	△5,016	29,754
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,476,357	101,298	1,193	85,214	3,664,063	—	3,664,063

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△248,800千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,900千円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△3,150,583千円は、セグメント間における投資と資本の相殺消去△1,312,925千円、債権と債務の相殺消去△1,837,658千円が含まれております。
 - (3) セグメント負債の調整額△1,837,658千円は、セグメント間における債権と債務の相殺消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

「青果物事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間にデリカフーズ北海道株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当連結累計期間においては10,093千円であります。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	532.14円	543.80円
1株当たり当期純利益	31.18円	24.46円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 2019年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	459,703	360,811
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	459,703	360,811
普通株式の期中平均株式数(株)	14,745,613	14,751,179

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,847,441	8,023,027
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち新株予約権(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,847,441	8,023,027
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(株)	14,746,966	14,753,516

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当連結会計年度における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	対前期増減率 (%)
カット野菜部門	12,056,806	0.5
ホール野菜部門	—	—
その他	—	—
合計	12,056,806	0.5

(注) 1. 金額は、製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②仕入実績

当連結会計年度における仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	仕入高 (千円)	対前期増減率 (%)
カット野菜部門	7,194,468	4.4
ホール野菜部門	12,902,337	△1.8
その他	4,385,708	3.1
合計	24,482,514	0.8

(注) 1. 金額は、仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③受注実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は、出荷日の前日ないし前々日に受注をすることが多く、受注から売上計上までの期間が極めて短いことから受注規模を金額で示すことはしておりません。

④販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	販売高 (千円)	対前期増減率 (%)
カット野菜部門	17,392,894	6.9
ホール野菜部門	18,022,695	△2.0
その他	4,997,799	4.7
合計	40,413,389	2.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績推移

2020年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	9,930,446	10,498,653	10,591,518	9,392,771
営業利益又は損失(△)	207,101	134,900	293,566	△63,889
経常利益又は損失(△)	223,418	149,988	308,577	△40,335
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は損失(△)	138,825	95,047	199,193	△72,254
1株当たり四半期純利益 又は損失(△)	9.41円	6.44円	13.50円	△4.90円
総資産	20,477,643	21,309,815	21,757,501	21,873,425
純資産	7,851,774	7,972,009	8,167,653	8,023,027
1株当たり純資産	532.44円	540.35円	553.61円	543.80円

2019年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	9,483,330	9,976,784	10,291,763	9,696,336
営業利益	176,827	59,068	363,545	86,323
経常利益	199,712	75,582	373,923	111,939
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108,383	38,996	242,613	69,708
1株当たり四半期純利益	7.35円	2.64円	16.45円	4.73円
総資産	19,016,643	19,290,483	19,479,391	19,807,206
純資産	7,538,436	7,562,180	7,762,152	7,847,441
1株当たり純資産	511.32円	512.80円	526.36円	532.14

(注) 当社は2019年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(3) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2020年6月24日付予定)

1. 新任取締役候補

取締役 仲山 紺之(現執行役員管理本部長)

2. 退任予定取締役

取締役 丹羽 真清